

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 林 貴文

- I 開催年月日 令和 4 年 10 月 18 日（火）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 29 分
III 出席委員等 [出席委員] ◎林 貴文 ○横田 誠二 新開 広恵
熊木 義城 埜田 悦子 筏井 哲治
本田 利麻 福井 直樹 水口 清志
(◎…委員長 ○…副委員長)
[議長] 坂林 永喜
[副議長] ※本田 利麻副議長は委員として出席
[説明員] 別紙名簿のとおり
[委員外議員] なし
[事務局職員] 西本 幸夫 高嶋 史恵 吉本 昌史
[傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[消防本部]

- 。令和 4 年秋季火災予防運動の実施について

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【火災予防の取り組みについて】

- 各消防署にてさまざまな行事を実施する予定となっているが、これらの参加者は自治会単位なのか。それとも、その場に居合わせた方々なのか。
- △ 基本的には自治会の方々にお集まりいただき実施する。イオンモール高岡で予定されている「おしごと体験」のみ、消防本部ではなくイオンモールが主催する行事であり、来店された方が参加する。

- 自治会の方々以外の飛び入りの参加者は想定しているのか。
- △ 飛び入りの参加者についても対応可能だと考えている。
- 全国統一防火標語について、マスクのことを書く必要はあったのか。
- △ 標語は総務省消防庁が全国から募集して採用したものであり、令和4年度当初に既に発表されていた。なお、標語は毎年度変更となる。
- 勝興寺が国宝指定の答申を受けたが、今後の消防本部としての対応は。
- △ これまでも、1月の文化財防火デーに合わせて、消防訓練や立入検査を実施してきた。貴重な文化財を火災から守るため、このたびの国宝指定の答申を受け、地元消防団や自衛消防隊等と協力しながらより一層尽力していきたい。
- これまで、市内の各地区にて防火・防災に関する出前講座を実施していただいていたが、近年は新型コロナウイルスの影響で実施できていない。このたびの火災予防運動の重点目標の内容に関する出前講座を、今後実施することは可能か。
- △ 自治会からの出前講座の要望は少なくなってきたが、要望がある場合については調整しながら応じている。一方で、消防本部では毎年度「防火・防災マイタウン」を指定し、当該地区の自治会に対して講習会等の開催を働きかけており、徐々に開催に向けた動きが出てきている。「防火・防災マイタウン」の取り組みは継続して行っていく。
- 講習会等の内容は、自治会ごとに自由に選択できるのか。
- △ 開催にあたっては自治会の方々と相談しながら準備をしている。地区の特性に合わせた避難方法や、救命救急について、住宅用火災警報器について等、さまざまに盛り込んで実施している。
- 近年、新型コロナウイルスの影響により、充実した火災・災害予防訓練ができない状況が続いていると感じる。国からは屋外でマスク着用を不要とする方針も示されているが、今後の訓練の際の感染防止対策は、これまでと同様なのか。
- △ 今後予定されている消防団検閲訓練や出初式等については、徐々にできることを増やしながら実施していきたいと考えている。現時点では、全てを新型コロナウイルスの感染拡大前の状況に戻せるとは言えない。
- コロナ禍で防火・防災のノウハウが薄れていくことを危惧している。モチベーションや技術力が低下しないように努めていただきたい。(要望)

2 その他

。行政視察について

10月20日(木)～21日(金)に、神奈川県藤沢市を訪問することが報告された。

。次回の常任委員会の開催について

令和4年11月17日(木)午前10時に開催することが報告された。

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔市民病院〕

。高岡市民病院ふれあい健康フェスティバルについて

〈 委員から次の質疑があった。 〉

【フェスティバルの参加者への対応について】

○ 外国人の参加者については、どのような対応を考えているのか。

△ 翻訳機等の準備を検討したいと考えている。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（6名）

消防長	浦 島 章 浩	市民病院事務局長	柴 田 文 夫
消防本部次長	山 口 喜 代 治	総務課長	上 森 智 美
消防本部次長 総務課長	有 澤 智 文		
消防本部参事 予防課長	奈良岡 由多可		